

学校説明会 要予約

中学生と保護者を対象に、教育内容・入試制度の説明、個別相談を行います。
学校説明会への参加には、本校HPから事前にWEB予約が必要となります。

10/11
sat

11/1
sat

11/29
sat

IB 説明会 要予約

本校の IB コースの狙いや具体的なカリキュラムについて、IB 担当教員からご案内します。卒業生がプレゼンする場も設ける予定です。本校 HP から事前に WEB 予約が必要となります。

7/26
sat

オレンジ祭(文化祭)

本校では文化祭のことをオレンジ祭と呼んでいます。クラブや有志団体による公演や展示、学習活動の展示・発表を行います。入場方法は HP をご確認ください。

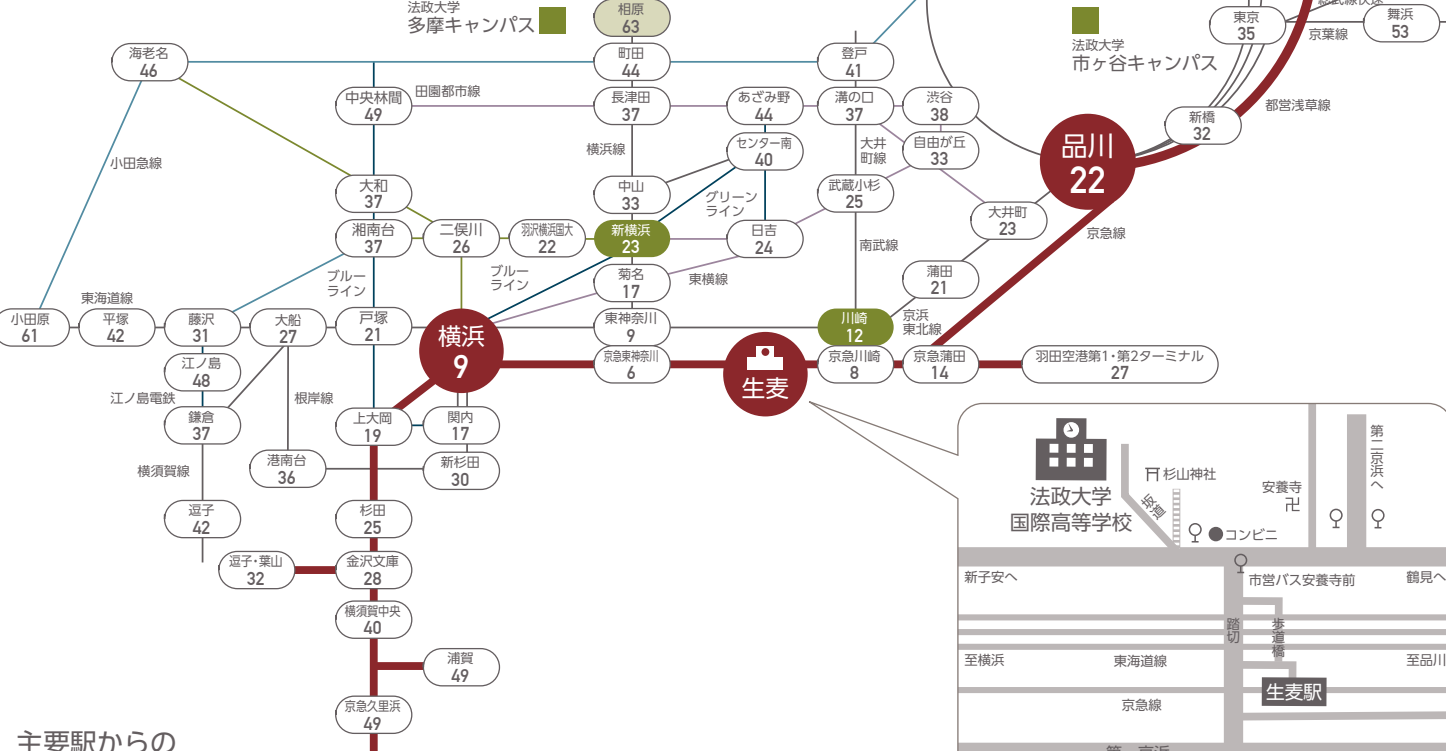
9/20
sat

9/21
sun

交通アクセス

京急線・都営浅草線・京成線 JR線 東急線
小田急線 相鉄線 市営地下鉄線

駅名 00(分) 京急線「生麦駅」までの所要時間の目安



主要駅からの 所要時間目安・アクセス

17分	川崎駅	徒歩	京急川崎駅	京急線
14分	横浜駅			京急線
28分	新横浜駅	JR横浜線	東神奈川駅 京急東神奈川駅	京急線
27分	品川駅	京急線快特	京急川崎駅	京急線
50分	新宿駅	JR山手線		

法政大学国際高等学校



法政大学国際高等学校

〒230-0078 神奈川県横浜市鶴見区岸谷 1-13-1
TEL.045-571-4482(代)
<https://www.kokusai-high.ws.hosei.ac.jp/>



HOSEI UNIVERSITY KOKUSAI HIGH SCHOOL 2026

法政大学国際高等学校



グローバルシチズン

地球市民であれ

法政大学国際高校の前身である潤光学園は 1933 年に創設され、戦時色が強まる時代において、自由主義に基づいた気風を保ち続けました。

1949 年に法政大学に移管し、「自由と進歩」を掲げる法政大学の附属女子校となりました。名誉校長で作家の野上彌生子が講話のなかで述べた「女性であるまえにまず人間であれ」は、長く本校の教育指針の一つとして、生徒を励まし続け、支えとなってきました。

そして 2018 年、主体的に学び、考え、行動し、多様な他者とつながる 21 世紀のグローバルシチズンを育てる付属校として、性差を問わない「法政大学国際高等学校」となりました。

私たちの思いの原点には、「法政大学憲章」があります。社会の課題解決につながる「実践知」を創出するために、私たちは「5 つのスキル」を育み、世界の人々とともに歩む「地球市民」を、この学校に関わる全ての人とともに目指します。



思考

論理的かつ創造的に考える能力。



コミュニケーション

伝える能力。他者を理解し、それに適切に対応する能力。



自己管理

自分がやるべきことを把握して、適切に管理し、実践する能力。



ソーシャル(社会性)

他者と知識を共有し、対話を円滑に行う環境を整える能力。



リサーチ

必要な新しい情報を得る能力。また、情報を判断する能力。

5つのスキル

学習を進めていく上で、そして物事を創造的に進められる人になるためには、5 つのスキルの習得を意識することが大切です。



法政大学憲章

自由を生き抜く実践知

法政大学は、近代社会の黎明期にあって、権利の意識にめざめ、法律の知識を求める多くの市井の人びとのために、無名の若者たちによって設立されました。

校歌に謳うよき師よき友が集い、人びとの権利を重んじ、多様性を認めあう「自由な学風」と、なにものにもとられることなく公正な社会の実現をめざす「進取の気象」とを、育んできました。

建学以来のこの精神を受け継ぎ、地球社会の課題解決に貢献することこそが、本学の使命です。

その使命を全うすべく、多様な視点と先見性をそなえた研究に取り組むとともに、社会や人のために、真に自由な思考と行動を貫きとおす自立した市民を輩出します。

地域から世界まで、あらゆる立場の人びとへの共感に基づく健全な批判精神をもち、社会の課題解決につながる「実践知」を創出しつづけ、世界のどこでも生き抜く力を有するあまたの卒業生たちと力を合わせて、法政大学は持続可能な社会の未来に貢献します。

「世界のどこでも生き抜く力」を育てる法政大学

法政大学は、1880 年の設立以来、個の独立と自由を重んじ社会発展に寄与してきました。海外留学や英語学位プログラムなどを展開する法政大学への進学を通して、地球市民を育てる本校での学びをさらに発展させることができます。

法政大学 市ヶ谷キャンパス



INTERVIEW 1

他者を理解し、可能性を広げていく。

IBコース 3年 K.M.

多様な学びで自分の得意なことを新たに見つける

私は英語力をしっかり身につけることができ、生徒の自主性を重んじる自由な校風の法政国際で学びたいと思い入学しました。実際の高校生活はイメージ通りで、英語での授業も多いですし、ホームルームでは生徒同士で話し合い、生徒会と直接やり取りをしているいろいろなことを決めていくことができるなど、先生方は自主性を大切にしてくれます。特に少人数制の IB コースは課題が多いのですが、互いに問題を解き合うなどして勉強するのでみんなとの距離が近くなり、少人数ならではの仲の良さがあるように思います。国語などの授業は生徒同士で意見交換し合い、論理的かつ創造的に考えることができ、他の人たちの意見に気付かされることがたくさんあります。また、情報のプログラミング授業ではその面白さを知り、自分でさらに知識を深めて総務省主催の「統計データ分析コンペティション」に参加しました。そこで「統計活用奨励賞」を受賞できたことを励みに、もっとスキルを伸ばしていきたいと思っています。IB コースには CAS (Creativity, Action, Service) プロジェクトがあるのですが、私は中国人向けの SNS 投稿に取り組んでいます。今は日本で流行っている言葉や音楽、アニメなどを発信しています。これは 1 年次に参加した中国のサマーキャンプで、日本の文化やアニメ、制服などにとても興味を持っている人が多いことを知った経験を活かしています。法政国際はたくさんのことが学べ、様々な人たちの考えを知ることができ、そして行動することの楽しさを教えてくれる学校です。



人との繋がりの大切さを知ろう。

まずは身近な人とのコミュニケーションについて振り返ってみましょう。相手の話にきちんと耳を傾けられているだろうか、相手を尊重しているだろうか ... 円滑なコミュニケーションのためには、「話す力」だけでなく「聞く力」も重要です。人との違いを知ること、自己理解も深まります。人との繋がりの中で、自分の力を発揮できる分野を発見できるかもしれません。



海外大学への進学も選択肢に。

世界中の大学への出願入学資格を得られる国際バカロレア・ディプロマプログラム。1 年次に準備を進め、2 年次から本格的にスタート。英語・日本語の 2 ヶ国語により実施し、未来を切り開く力を育成します。



「私っていったい、なにもの？」を問う。

どうすれば自由な思考ができるのか？ 哲学的な問いに挑み、論理的・批判的思考力を養う「Critical thinking」と IB コースの「TOK」。当たり前を疑い、自分の価値観を問い直します。



探究のために必要なリサーチ法を学ぶ。

蔵書数約 6 万冊を誇る本校の図書室。学びのベース基地としての役割を担っています。新着図書も毎月更新され、新しい世界を知る入口にもなっています。法政大学図書館の蔵書の貸し出し利用も可能です。



自分の考えを英語で！ 英語プレゼンテーション大会。

法政大学が主催する、自分の考えを英語で伝える「総長杯英語プレゼンテーション大会」。法政大学の 3 つの付属校の生徒が参加し、行われます。

INTERVIEW 2

興味を持って起こす行動が世界へと広がる。

グローバル探究コース 3年 T.R.

やりたいことを伸ばせる環境が、自信を育む

私が中学生のときはコロナ禍で、父が家でテレワークをしていたのですが、海外の人たちと英語で会議している姿を見て「カッコいい」と思っていたのです。そこから高校は英語や国際文化交流に力を入れているところに進学しようと決めていました。法政国際は単位制で、自分で好きな科目を選んで授業を受けられ、英語を特化して勉強することができる環境に魅力を感じて志望しました。2年生のときには、ずっと挑戦してみたかった約3ヶ月間のカナダ留学を経験しました。得意だと思っていた英語がなかなか使えず、極度の人見知りなこともあって最初はとても不安でした。しかし、その気持ちを一度捨て、自分をさらけだして会話することで積極性を身につけることができました。小学生から続けているバスケットボールを通して友達もでき、オールスターゲームの選手に選出され、新聞にも載りました。チーム内の国籍は様々なのですが、褒め合ったり、こうしようと声を掛け合ったりして仲間との距離が縮まっていったときには、人を繋ぐスポーツのチカラを改めて実感しました。帰国後もSNSを通じて友達やホストファミリーと連絡を取り合いながら、英語を日々勉強中です。学校で様々な国の文化に触れ、留学先の友達と交流していくなかで、異なる価値観が交わることの面白さを感じています。これからは国際イベントなどにも参加し、世界中の人たちが自然に交流できるような環境づくりにも取り組んでいきたいですし、将来は国際交流の架け橋となるようなことに携わりたいです。



あなたが広げた視野で世界を見てみよう。

まずは自分の場所を俯瞰して、そして世界はいまどうなっているかを見てみましょう。そうすることで、自分が世界の人々とどのように繋がっていくべきか、わかっていくはずです。人々が繋がることで、地球はより良く、楽しい場所になっていきます。あなたも世界と繋がり、未来の地球を創り出す力を磨いていってください。



社会をリアルに知るフィールドワーク。
検索すれば何でも情報が出てくる時代。けれども、実際に現場を見て、体験してみないとわからないことは、沢山あります。フィールドワークを積極的に活用し、確かな知識を獲得していきます。



自由に学びをカスタマイズできます。

1年次に基礎学力を身につけ、2・3年次では自分の興味・関心や進路に合わせて自由に授業を選択できます。クラスを固定せず、多様な学習者たちと学びます。



ダイバーシティの推進と異文化交流プログラム。

本校では世界中からやってきた留学生と交流する機会があります。英語で過ごす「異文化交流プログラム」や、zoomを活用した海外校との交流、海外留学や海外研修プログラムが盛んに行われています。



社会の問題はつまり、私自身の問題だ。

本校独自の探究講座「地球市民」では、各々が自分の研究課題に挑みます。高校生の視点で考えるからこそ、自由で新しい課題解決の方法が見つかるかもしれません。



IBコース



世界標準の教育課程を学び、 海外大学への進学も将来の選択肢に。

国際バカロレア (IB) とは

国際バカロレア機構（本部ジュネーブ）は、国際的な教育プログラムを提供する組織です。国際バカロレア（IB：International Baccalaureate）は、1968年、チャレンジに満ちた総合的な教育プログラムとして設置されました。世界の複雑さを理解して、そのことに対処する力の育成、未来へ責任ある行動をとるための態度とスキルの定着をねらいとしています。また、国際的に通用する大学入学資格（国際バカロレア資格）を与え、大学進学へのルートを確保することを目的としています。IB ワールドスクールは、世界で約 5,900 校あります。日本における認定校はおよそ 240 校あり、国内 1 条校では 84 校で実施しています（日本語 DP 実施校 39 校）。所定のカリキュラムを 2 年間履修し、最終試験を経て所定の成績を収めると、国際的に認められる IB ディプロマ（国際バカロレア資格）が取得可能です。海外の多くの大学（100 カ国以上 20,000 校以上）が、IB ディプロマを入学資格として認めています。

IB の使命

国際バカロレア (IB) は、多様な文化の理解と尊重の精神を通じて、より良い、より平和な世界を築くことに貢献する、探究心、知識、思いやりに富んだ若者の育成を目的としています。この目的のため、IB は、学校や政府、国際機関と協力しながら、チャレンジに満ちた国際教育プログラムと厳格な評価の仕組みの開発に取り組んでいます。IB のプログラムは、世界各地で学ぶ児童生徒に、人それぞれの違いを違いとして理解し、自分と異なる考えの人々にもそれぞれの正しさがあり得ると認めることのできる人として、生涯にわたって学び続けるよう働きかけています。

The IB Learner Profile (IB の学習者像)

IB の学習者像は、IB ワールドスクール (IB 認定校) が価値を置く人間性を、10 の人物像として表しています。こうした人物像は全て、個人や集団が地域社会や国、そしてグローバルなコミュニティの責任ある一員となることに資するものです。

Inquirers 探究する人	Knowledgeable 知識のある人	Thinkers 考える人	Communicators コミュニケーションができる人	Principled 信念をもつ人
Open-minded 心を開く人	Caring 思いやりのある人	Risk-takers 挑戦する人	Balanced バランスのとれた人	Reflective 振り返りができる人

TOPICS IB 資格を活用して幅広い進路選択を実現

本校の IB コース修了生は、フルディプロマ最終試験の合格率が高く、国際バカロレア資格 (IB ディプロマ) を活用した進路選択をする生徒もいます。日本の国立大学や国際系学部を擁する私立大学では、IB ディプロマ資格取得済み、もしくは取得見込みの者を対象とした IB 入試を実施する大学が増えています。IB コースの修了生はこうした受験機会も活用しています。また、IB ディプロマ資格を活用して海外の大学に進学した生徒もいます。

〈卒業生の主な合格校〉

法政大学／上智大学／国際基督教大学／早稲田大学／北海道大学／横浜市立大学／
Montan University Leoben, Johannes Kepler University Linz (オーストリア)／Maastricht University, Vrije University Amsterdam (オランダ)／University of Sussex, University of Kent, University of Plymouth (イギリス)／
Lund University (スウェーデン)／University of Toronto (カナダ)／Angeles University Foundation (フィリピン)

IBディプロマ・プログラムとは…

「探究」(inquiry)、「行動」(action)、「振り返り」(reflection) を通じて、思考や自己管理、社会的なコミュニケーション、研究などのためのさまざまなスキルを発達させることを目指しています。DP の学びは、具体的には 3 つのコア科目 (「知の理論」、「創造性・活動・奉仕」、「課題論文」) と 6 つの教科グループで構成されています。3 つのコア科目は、IB 教育の哲学を具現化した DP の核であり、全ての学びはこれらの 3 つのコア科目と強く結びついています。

「知識の本質」について考える

「知の理論」(TOK : Theory of Knowledge) では、批判的思考 (クリティカルシンキング) に取り組みます。具体的な知識そのものでなく、知るプロセスを探究します。「知識の本質」について考え、知識の構築に関する問いを探究します。TOK の目的は、共有された「知識の領域」の間のつながりを重視し、それを「個人的な知識」に結びつけることで、生徒が自分なりのものの見方や他人との違いを自覚できるよう促していくことにあります。

リサーチスキル・記述力・創造性

「課題論文」(EE : Extended Essay) では、関心のあるトピックの個人研究に取り組み、研究成果を 4000 語 (日本語の場合は 8000 字) の論文にまとめます。EE では、履修している DP 科目から 1 科目を選び、対象とする研究分野を定めます。高いレベルのリサーチスキル、記述力、創造性を育成し、知的発見を促すことを目的としており、自分自身で選択したトピックに関する研究に自立的に取り組む機会となります。



6 つの教科グループ

6 つの教科グループからそれぞれ 1 科目を選択して学びます。通常、3 科目を上級レベル (Higher Level : HL) で、3 科目を標準レベル (Standard Level : SL) で履修します。各科目では、多くの課題 (コースワーク) が日常的に課されます。各科目の修了時に、IB による外部評価及び内部評価で学力が評価されます。

1. STUDIES IN LANGUAGE AND LITERATURE : 言語と文学
2. LANGUAGE ACQUISITION : 言語の習得
3. INDIVIDUALS AND SOCIETIES : 個人と社会
4. SCIENCES : 理科
5. MATHEMATICS : 数学
6. THE ARTS : 芸術

自分自身のアイデンティティを構築

「創造性・活動・奉仕」(CAS : Creativity, Activity, Service) は、「IB の使命」や「IB の学習者像」の倫理原則に沿って、自分自身のアイデンティティを構築することを後押しします。DP の期間を通じて、アカデミックな学習と同時並行で多岐にわたる活動を行います。CAS は、芸術などの活動に取り組む「創造性」、健康的なライフスタイルの実践を促す身体的活動としての「活動」、無報酬で自発的な交流活動を行う「奉仕」の 3 つの要素で構成されています。CAS は、DP を構成する他のどの要素よりも、「多様な文化の理解と尊重の精神を通じて、より良い、より平和な世界を築く」という「IB の使命」に貢献しているといえるかもしれません。

本校のIBディプロマ・プログラム

1 年次はプレ IB と位置づけ、国際バカロレア・ディプロマプログラム (IBDP) の学習の準備を行います。2 年次から本格的に DP がスタート。DP では、3 つのコア科目 (TOK、CAS、EE) と、6 つの教科グループから 6 つの科目を学びます。

1 年次

批判的思考

リテラシー

5つのスキル

国際バカロレアディプロマプログラム (IBDP) の学習の準備

DP の学習の基本である、「探究」(inquiry)、「振り返り」(reflection) を通じて、思考や自己管理、社会的なコミュニケーション、研究などのためのさまざまなスキルを発達させることや、DP を学ぶ上で必要となる基礎的なリテラシー (Literacy) を身につけ、批判的思考 (Critical thinking) を習慣づけることを目指します。

さらに DP を学ぶ上で必要となる基本的な 5 つのスキル、思考力 (thinking skills)/ コミュニケーションスキル (communication skills)/ ソーシャル (社会性) スキル (social skills)/ 自己管理スキル (self-management skills)/ リサーチスキル (research skills) を獲得し、高い語学力を身につけることを目指します。

また、日本の高等学校の卒業資格を得るために必要な文部科学省が指定する必履修科目を履修します。

1年次履修科目	現代の国語 言語文化 歴史総合 英語コミュニケーションⅠ 論理・表現Ⅰ	公共 地理総合 物理基礎 化学基礎 生物基礎	数学Ⅰ 数学 A 音楽Ⅰ / 美術Ⅰ 家庭基礎 情報Ⅰ	体育 保健 Critical thinking 総合的な探究の時間・HR
---------	---	------------------------------------	---	---

2 年次～

コア科目 (TOK・CAS・EE)

6つの教科グループ

DPの学習が本格的にスタートします。

2 年次から本格的に DP がスタートします。DP では、3 つのコア科目 (TOK、CAS、EE) と、6 つの教科グループから 6 つの科目を学びます。本校では、IB が制定する 6 つの教科グループについて下記の科目を設定しています。

本校の設置科目

教科	GROUP	科目	LEVEL	授業言語
GROUP 1	Studies in Language and Literature 言語と文学	Japanese A Literature 日本語 A 文学	SL/HL	日本語
GROUP 2	Language Acquisition 言語の習得	English B 英語 B	SL/HL	English
GROUP 3	Individuals and Societies 個人と社会	History 歴史	SL/HL	日本語
GROUP 4	Sciences 理科	Biology 生物	SL/HL	日本語
		Chemistry 化学	SL	日本語
GROUP 5	Mathematics 数学	Mathematics-Analysis and Approaches 数学	SL/HL	English
GROUP 6	The Arts 芸術	Visual Arts 美術	SL/HL	日本語
Core Subjects コア科目		TOK 知の理論	—	日本語
		EE 課題論文		
		CAS 創造性・活動・奉仕		

※その他に、必履修科目として体育があります。

IBコースでの 特徴ある学び

TOK (知の理論)



case
1

私たちは、どのように学んでいるのでしょうか？ TOK では、知識を身につける方法を意識し、自分たちの思考を相対化して捉える視点を養います。「哲学対話」の手法を取り入れるなどして、自由な思考やディスカッションが起こる工夫を授業に取り入れています。

国語科 T.H.

Theory of Knowledge では、「知識はどのように生まれるのか」「知識はどのようにして身につくのか」など、各科目で学習する知識そのものについて探究します。例えば、「AI 技術の発展はどのような影響を与えるか」「芸術作品の価値は客観的に判断できるか」「数学は現実社会の問題にどの程度適用できるか」などの抽象的な問いについて、リサーチ・検討し、論理的で説得力のあるエッセイの執筆に取り組みます。

I'm also an English teacher, so I can support your math education in English and Japanese. Let's explore the weird and wonderful world of mathematics!

数学科 J.T.

case
3



What is Mathematics? Why do we study it? In our IB classroom, we will try to answer these two big questions. In addition, group work and class discussions are two main features of our class. In this way, you will get to know your classmates better, while also learning math in a new setting. These class discussions will also teach you to think more deeply and carefully, which a) will help you understand any formula; and b) is a useful skill for any future career.

CAS (創造性・活動・奉仕)



case
2

CAS では自主的に自分の興味・関心のあることに取り組みます。私は幼い頃から家族と海に行くのが好きです。私にとって大切な場所である海の現状を知り、地域の人々と共に海の環境を守るために海岸清掃のイベントを企画・実施しました。海洋汚染の深刻さを知り、大きな学びとなりました。

IBコース 3年 T.S.

CAS は「創造性・活動・奉仕 (Creativity, Action, Service)」という3つの要素から構成されており、多種多様な活動を通して成長し、自らが得た知識や経験を社会に還元していくことを目的としています。アート作品の制作や演奏などの創作活動、地域の清掃活動などのボランティア、健康的なライフスタイルを実現するための身体活動など、生徒たちはそれぞれの興味・関心に基づいて CAS に取り組んでいます。

IBでの授業選択や試験対策などについて、先輩に相談しています。先輩方は自分の実体験で具体的にアドバイスをくださるのでとても参考になります！クラスのメンバーは同じ目標を持った同志たち。3年間一緒に学びます。和気あいあいとした雰囲気楽しく過ごしています。

IBコース 2年 H.R.

case
4



IB コースは各学年1クラスだけで、少人数で授業を行っています。そのため、異学年との交流も積極的に行っています。新入生が入学してすぐに DP 集会を行い、自己紹介やゲームなどを通じて親睦を深めています。また、DP 報告会という IBでの学びについて共有する機会も設けています。IBの学びは他者と協力することによってより深まります。他者の学びについて知ることによって自分の学びを振り返ることができ、自らの目標設定につながります。



～IBコースの学びと未来～



法政大学総長 Diana Khor 先生

DP コーディネーター A.G 先生

A.G.先生 今日はダイアナ・コー先生がいらっしゃっています。みなさんの経験にとっても関心を持ってくださっています。緊張していると思いますが、自然体で話してくださいね。まずは本校の IB コースで学びたいと思った理由を紹介してください。

生徒A 答えのない問について考えたいと思ったからです。例えばフィボナッチ数列などについて考えることが私は好きなので、IB コースを選択しました。

生徒B 私は物事を見る視野を広げたいと考えたからです。

生徒C 私は小学生のときに 6 年間オーストラリアに住んでいたの、その英語力を向上させたいと思い、入学しました。

Khor先生 なるほど、ありがとうございます。皆さんから私に質問がありますか。

生徒B コー先生のご自身の専門分野の学びについて面白いと感じていらっしゃることはどんなことですか？

Khor先生 私の専門分野は社会学で、物事の背景を考えたり、一般常識について改めて捉えなおしたりするところに面白さを感じています。社会学は A さんの言っていたように、答えのない問いのようなものに近いです。私が IB コースでいいなと思うのは、なんでも学ぶことができ、学び続けることができることです。私自身、これからも学び続け、新しい知識を得ようと思います。新しい知識を得ること自体ではなく、学べる状態であることが大切で、IB はそれを可能にしてくれるものだと考えています。

生徒D IB ではグループワークやディスカッションを通して学んでいます。ディスカッションは口火を切る人がいなければ何も進みません。そうしたグループワークを通して自分の責任感やリーダーシップが向上したと感じています。

生徒A 最初は私にとって難しいことでした。いつもたくさんのことを自分で取り組んでいます、ひとりでやってもよい答えはあまり得られません。いろいろな人の意見に耳を傾けなければならない。最近では他の人と議論するのが好きで、その方が考えを深めていく上でよりよい方法だと気づきました。

Khor先生 なるほど。もしグループの誰かが手伝わなかったらどうしますか？ そういう場面はなかった？

生徒C 人数が少ないこともあって、みんなが議論に貢献していると思います。中学生のときはあまりディスカッションに参加しなかったのですが、高校に入ってから積極的に参加するようになりました。一人では思いつかないようなアイデアも出てくるので、グループディスカッションは楽しいです。

Khor先生 この高校の IB コースは仲間との学びやアクティブラーニングをするような環境をあなたに与えたのですね。

A.G.先生 では、次にあなた方の将来のことを考えてみましょう。IBでの経験はあなた方を何に導いてくれますか？ 大学やその後のキャリアに関してどんな働きかけがありますか？

生徒A IB では「本当に正しいのか」など批判的思考が必要になってきます。私はこれからこのような思考力を伸ばしていきたいです。



生徒D 私はこれまで海外の大学へ行くことは考えていませんでした。IB の授業を受けてからは、もし学んでみたいものが日本にない海外にあるのなら、海外の大学も私にとってよい選択肢だと思っています。グローバルな視点を持てるようになったと感じています。

Khor先生 みなさんがそれぞれのビジョン、やりたいことを持っていますね。私は簡単にまとめたくはないのですが、可能性を広げること、選択肢を広げることが大きなテーマだと感じました。これはまさに私たち教育者が目指していることです。本当に素晴らしいですね。

A.G.先生 もし自身に可能性があると感じるなら、自分に限界を設けることがなくなります。自分で自分を行きたい場所へ押し上げることができます。誰かに「こうあるべき」と言われるのではなく、自分の意志で進むことは素晴らしいことです。これが IB と本校での学びについての考えです。続いて、IB の学びと評価についてみなさんに伺います。IB の評価についてどう理解していますか？

生徒A IB ではたくさんの視点で物事を考えることが大切です。私たちは多角的に考える力が求められます。

Khor先生 IB ではただ正解を出すのではなく、どれだけ多くの視点から物事を見られるかによって評価されますか？

生徒B IB ではどのようにその答えにたどり着いたか、自分がどう考えたかがとても重要視されます。批判的思考はIBではとても重要です。IBの評価は、現実の世界では答えが一つに定まらないことが多いという前提に基づいていると思います。

Khor先生 その答えにたどり着く過程が評価されるという点が面白いですね。

生徒E IB では、例えば生物で、先生がいつも自分で考える方法を教えて下さるので学んだ実感があります。日常生活でも自分で観察して考えたり推測したりする力が身についてきたのは IB 教育のおかげだと思います。

A.G.先生 IB の学びを進める上で、時間管理がとても難しいと聞いています。これを乗り越える上で、みなさんにとってクラスメイトはどのくらい大切な存在ですか？

生徒F とても大切です。私は数学が苦手で、しかも数学は英語で授業が行われるのでさらに難しく感じます。しかし、数学がとても得意なクラスメイトがいて、数学が得意でない人への教え方もよく知っています。私は彼に助けられてとても感謝しています。クラスメイトは私がとても落ち込んでいるときに、精神的な面でも助けてくれました。

生徒D 私たちは全員 IB ディプロマを取るために日々一生懸命に取り組んでいるので、ある意味ではライバルです。みんな自分のやるべきことを理解し、それをどう扱えばいいのかも把握しています。だからみんなの姿を見ることで自分を奮い立たせています。同時に彼らは私をととても助けてくれます。よいチームメイトであり、ライバルでもあります。



Khor先生 クラスメイトや上級生は自分をもっとやる気にさせてくれる存在なのですね。もし、クラスメイトがあなたを支えてくれると感じているのなら、きっとあなたもクラスメイトを支えているのだと思います。

生徒A コー先生に質問です。どのようにしたら一つの物事を多様な視点から考えられるのでしょうか。私はいつも自分の考えを持つと、そこから抜け出せません。自分の考えに固執してしまいます。もっと多くの視点から物事を考えられるようになるにはどうすればよいと思いますか？

Khor先生 常に一つの意見を持っていることはとても重要です。なぜならそれがあなたの軸になるからです。私たちには「核」や「軸」が必要です。そして重要なのは、「オープンマインドである」ということがすなわち「さまざまな視点がある」ということではありません。自分自身の意見を持つことも大切なのです。そうでなければ、前に進めません。本当に「オープンマインドである」ということは自分自身の意見を持った上で、他人の意見を評価し、見極める中で問われるものだと思います。そして、相手がよりよい視点を持っていると感じたときは素直にそれを認める謙虚さも必要です。そういう姿勢は、単に思考法を学ぶということだけでなく、自分自身が人として成長していくことにもつながっていると思います。

A.G.先生 最後に生徒たちにメッセージをいただけますか？

Khor先生 みなさんが話してくださったことは、みなさん自身の「旅」でした。それは学びを超えた「経験」でした。私はとてもインスピレーションを受け、これからの大学での仕事に対するモチベーションが高まりました。ありがとうございました。

懇談の全文は HP でご覧いただけます。

この懇談は、英語で行われ、全ての翻訳を DP1の生徒たちが行いました。ここでは、一部を抜粋、編集しています。



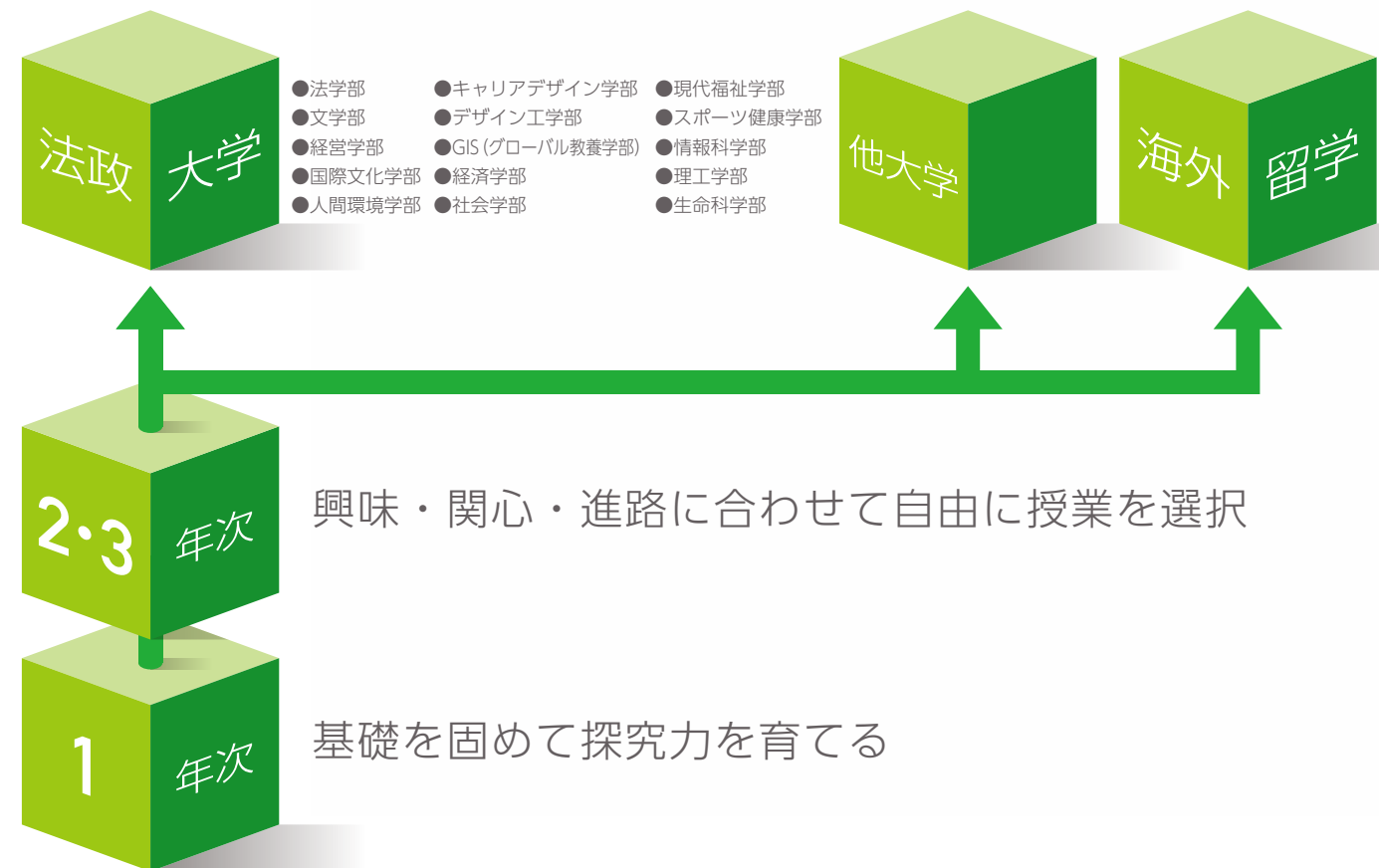
グローバル探究コース



自分らしく学ぶ

まず、基礎学力と学習習慣を身につける。
そして、それぞれが描いた
夢に向かって進む。

1年次は、必修科目で基礎的な力を身につけると
ともに批判的・論理的思考力を高めます。
またアクティブ・ラーニングによって、
主体的に学習に取り組む姿勢を養います。
そして、2年次・3年次は1年次で培った力を基に、
興味・関心のある授業を自由に選択します。
進路に合わせ自分でカリキュラムを組むことができ、
目標の実現を目指します。



自分で作る自由なカリキュラム

1 年次には高等学校の必修科目を履修します。基礎的な学力や学習習慣を身につけた上で、2 年次・3 年次は自分の興味・関心、目指す進路に合わせて自由に授業を選択します。「単位制カリキュラム」によって幅広い分野を学ぶことも、伸ばしたい分野を重点的に学ぶことも可能です。「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ」にはネイティブ教員が担当するアドバンストクラスが設置されています。

必修科目

1 年次

HR (1)	物理基礎 (2)
総合的な探究の時間 (1)	化学基礎 (2)
現代の国語 (2)	体育 (3)
言語文化 (2)	保健 (1)
歴史総合 (2)	音楽Ⅰ／美術Ⅰ (2) ※
公共 (2)	英語コミュニケーションⅠ (4)
数学Ⅰ (3)	論理・表現Ⅰ (2)
数学 A (2)	情報Ⅰ (2)
Critical thinking (1)	

※「音楽Ⅰ」または「美術Ⅰ」のうちから、いずれか 1 科目を選択

2・3 年次

HR (1) × 2
総合的な探究の時間 (1) × 2
体育 (2) × 2
地理総合 (2)
生物基礎 (2)
家庭基礎 (2)
保健 (1)
地球市民Ⅰ・Ⅱ (各 2)

選択科目

2・3 年次

2025年度開講科目55科目

国語	論理国語 (4)／文学国語 (4)／古典探究 (4)／総合国語 (2)／古典総合 (2)／古典講読 (2)／日本の古典芸能 (2)
地理・歴史	世界史探究 (4)／日本史探究 (4)／世界史総合 (2)／日本史総合 (2)
公民	政治・経済 (2)／倫理 (2)／国際社会 (2)
数学	数学Ⅱ (4)／数学 B (2)／数学 C (2)／数学Ⅲ (4)／数学研究Ⅰ (2)／数学研究Ⅱ (2)／調査研究の為の数学 (2)
理科	物理 (4)／化学 (4)／生物 (4)／物理への橋渡し (2)／化学への橋渡し (2)／生物への橋渡し (2)／理科特講 (2)
芸術	音楽Ⅱ (2)／美術Ⅱ (2)／音楽Ⅲ (2)／美術Ⅲ (2)
英語	英語コミュニケーションⅡ (4)／英語コミュニケーションⅢ (4)／論理・表現Ⅱ (2)／論理・表現Ⅲ (2)／ライティングⅠ・Ⅱ (各 2)／ランゲージ BⅠ・Ⅱ [HL] (各 6)／ランゲージ BⅠ・Ⅱ [SL] (各 4)／いろいろな英文を読む (2)／英語で学ぶ日本の文化 (2)／英語圏の言語と文化 (2)
第二外国語	中国語圏の言語と文化 (2)／韓国・朝鮮の言語と文化 (2)／ドイツ語圏の言語と文化 (2)／フランス語圏の言語と文化 (2)／スペイン語圏の言語と文化 (2)／イタリア語圏の言語と文化 (2)
情報	情報Ⅱ (2)
国際	高大連携「大学の学問にふれる」 (2)／知の道筋 (2)／PBL (2)

※「特別聴講制度」を利用して履修した法政大学の科目を、本校での「学校外学修」の修得単位として認定することができます。

グローバル探究コースの授業を覗いてみよう

case 1

日本の古典芸能



歌舞伎・人形浄瑠璃・能・狂言・落語など日本の古典芸能の歴史や特質を探究し、「日本人」の価値観や美意識、精神のあり方について考えます。年数回校外での鑑賞会を行います。

case 2

調査研究の為の数学



現代ではいわゆる「文系」でも社会を正しく理解するための数学的知識が必要となります。「文系」志望者を対象に、世の中の様々な事象に対して「数学モデル」を作り、統計処理により正しく推論するための方法を学びます。

case 3

英語圏の言語と文化



ネイティブ教員が担当する英語圏の文化を学ぶ講座です。speaking能力を向上させるとともに、異文化への理解を深めます。他にも「英語で学ぶ日本の文化」「いろいろな英文を読む」「ライティング」「ランゲージ B (IB コースと共通)」など多数の独自の英語科目があります。

case 4

第二外国語



第二外国語として、「ドイツ語圏の言語と文化」「フランス語圏の言語と文化」「スペイン語圏の言語と文化」「イタリア語圏の言語と文化」「中国語圏の言語と文化」「韓国・朝鮮の言語と文化」が選択履修できます。

case 5

高大連携「大学の学問にふれる」



年間を通して法政大学の先生方をお招きし、講義やワークショップを通して、現代社会の諸課題に学問がどのようにアプローチしているのかを学ぶ、大学付属校ならではの「学問への招待」の講座です。将来の進路選択にも役立ちます。

case 6

知の道筋



IB コア科目「TOK (知の理論)」(P11) の手法を用いながら、人はどのように知識を得ていくのか、その知識は本当に正しいのか、それをどのように他者と共有していくのかなど、全ての教科の土台となる「批判的で論理的な思考力」を身につけます。



地球市民を育てる9つの仕組み



01 「学び方」を学ぶ Critical thinking

膨大な情報があふれ、複雑化した現代社会でものごとを判断するためには、情報をそのまま受け取るのではなく、その背景や意味を注意深く考えることが大切です。「Critical thinking」では、私たちの心がもっている様々な弱さや偏りをリアルに体験したり振り返ったりしながら、私たちがまわりの世界を認識し判断していくためのスキルや知識とともに、情報や知識を注意深く検討する態度を獲得します。授業では、ディスカッションやプレゼンテーションなどを通して、生徒と教員が協同して答えのない問いを探究しながら、論理的・批判的思考の習慣を身につけます。

主な学習内容

- Critical thinking が法政国際の学びの中心である理由とは？
- 探究には、どのようなスキルや姿勢が必要だろうか
- 「すべて完璧な」人生とは、どんな人生だろうか
- ある信念にもとづいた行動は、どこまで正しいと言えるのか
- 原因の推測、因果関係の推定、原因帰属の間違い
- 人類がもっている悪いクセ：認知バイアス
- じぶんは何を知っているか
- 科学的方法論の基礎～観察、推論、仮説、検証、理論
- データの取得、処理、分析
- 科学、文学、歴史学などに共通する思考を知ろう
など

02 社会と自分をつなぐ 探究プログラム「PASS」

本校独自の探究プログラム「The Program “Your Awareness Saves Society” =PASS」は、まず日常における自身の小さな「気づき」に向き合うことで、「自分の興味関心」が「世界（他者）」とどうつながるのかを知ります。そして「私と世界のつながり」を自覚し、その課題を探究することで、世界への確かな問題意識と学問的メソッドを築きます。

1 年次の探究プログラム

- 「地球市民であれ」という理念を軸に、自分の興味関心と世界が抱える問題のつながりに気づきます。
- 自分の興味関心をもとに、それを取り取りまく世界のどのような問題に解決の必要性を感じているかを探ります。
- 発見した「世界」の問題と「自分」をつなぎ、取り組む課題を自分で設定します。
- 自ら決めた目標の達成に向けて、自分に対して責任を持つことの大切さを学び実践します。
- 課題解決のための活動計画を立て、実践することで、これからの自分と社会がどうあるべきか考えます。

2 3 年次の探究プログラム

- 共通するテーマに関心を持つ生徒同士がチームを作り、意見交換を通して、多様な見方を身につけます。
- 世界で活躍するフロンティアの講演会やワークショップを実施します。
- 世界とつながるためのアプローチを4つの中から選択し、活動します。
- 活動の成果をスライドや論文などにまとめ、「成果発表」を行います。
優秀者は学外に公開する「国際教育プログラム成果発表会」でも発表します。

アカデミックアプローチ	文献調査や社会調査を通して学問的に探究する活動
社会参加型アプローチ	社会貢献活動や学校の自治活動など、コミュニティに実際に参加して取り組む活動
課題解決型アプローチ	社会問題やSDGsなど国内外の課題解決をテーマとして取り組む活動
実践型アプローチ	外部コンテスト等に参加し実践的に取り組む活動

03

社会課題に挑む力をつける

地球市民Ⅰ・Ⅱ

「地球市民Ⅰ」「地球市民Ⅱ」は、教科横断的な視点から世界を理解し、社会課題を探究するために本校が独自に
定めた科目です。2年次に「Ⅰ」より2講座（前後期各1講座）、3年次に「Ⅱ」より1講座を選択します。校外
フィールドワークや研究旅行を行う講座もあります。

2025年度 開講講座

6つの視点	地球市民Ⅰ 講座名	地球市民Ⅱ 講座名
1 自己と他者	現代の思想と批判入門 人間以外の動物との共生 自分探しとふれあいの心理学	文芸作品にみる死生観／比較史 スパイダー討論で進める問題解決とリーダーシップ 現代の思想と批評 様々なスポーツを多様な視点で考える
2 空間と時間	震災文学を読む 「世界」をつかむ ～語りの構造～	世界文学の傑作を読む 古典文学の広がり 純喫茶のエチカ この国のかたち
3 個人的表現と文化的表現	English in a Global Context／数学を使って音楽を楽しもう／ 現代の和服／ピアノ演奏法／ 音楽と社会のつながりを考えるー演奏実践における音楽アウトリーチ活動を通してー 美術史における絵画表現の研究	ミライのための平和プロジェクト／服飾造形 日本近代文学研究／ヴォーカリゼーション 若者をとりまく音楽文化の変遷
4 科学と自然	環境化学入門 「人」たる「ヒト」を探る	卒論生物／卒論物理／ 卒論数学／環境化学
5 公平性と発展	国民主権と政治参加 ～民意を動かすことばのちから～ 起業家養成塾 グローバルヒストリーでみる世界	子どものしあわせを考える 市民活動 ～防災ラジオ～
6 グローバル化と持続可能性	多文化共生と日本語教育 エシカルを考える 日本近現代における表現の流れ	旅する人の観光学



現代の和服



ヴォーカリゼーション



純喫茶のエチカ



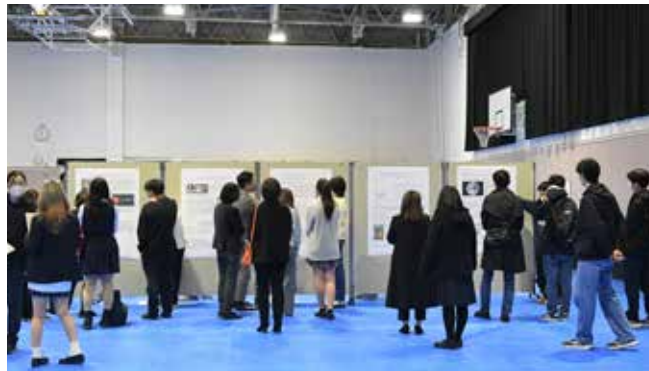
ミライのための平和プロジェクト

04

学びの成果を形にする

国際教育プログラム成果発表会

国際教育プログラム成果発表会は、法政国際高校の生徒がその年に行った探究活動を発表する集大成の会です。外部の評価委
員にも参加していただき、発表や質疑が活発に行われます。



2024年度 国際教育プログラム成果発表会 プログラム

開会式	
口頭発表／午前の部前半	
発表 A 地球市民Ⅱ	講座名「卒論生物」 メタアナリシスによる筋肥大促進刺激と筋肥大促進遺伝子候補の選定
発表 B 地球市民Ⅱ	講座名「旅する人の観光学」 ガストロノミーツーリズムにおける精進料理の可能性について
発表 C 地球市民Ⅱ	講座名「市民活動～防災ラジオ～」 臨時災害放送局の過去とこれから
発表 D 地球市民Ⅱ	講座名「スパイダー討論で進める問題解決とリーダーシップ」 持続的なパブリックスペースの在り方と問題解決におけるリーダーシップ
発表 A 地球市民Ⅱ	講座名「子どものしあわせを考える」 言語修得から得るしあわせ
発表 B 地球市民Ⅱ	講座名「数学的モデリングの技法」 東京都の気温予測における時系列分析
発表 C 地球市民Ⅱ	講座名「現代の思想と批評」 「ヒプノシスマイク」に見るジェンダー
発表 D 地球市民Ⅱ	講座名「Well-being and Happiness through Global Perspective」 Constituent elements of the degree of happiness of Hosei University Kokusai high school students
ポスター発表／午前の部	
DP1 (TOK) 5 組の発表 2年 PASS：なぜイスラエルはパレスチナに経済支援を行っているのか 地球市民Ⅰ「環境科学入門」：環境負荷低減を目的とした酸性土壌における最適な中和物質の探究 地球市民Ⅰ「人」たる「ヒト」を探る：ホモ属とアウストラロピテクス属を区別できる形態的特徴 1年 CommunityProject：道徳教育に関して	
口頭発表／午後の部後半	
発表 A 地球市民Ⅱ	講座名「古典文学の広がり」 源氏物語に映し出される、紫式部の女性観について
発表 B 地球市民Ⅱ	講座名「純喫茶のエチカ」 イタリアの「保置コーヒー制度」を日本で活用することはできるか
発表 C 地球市民Ⅱ	講座名「ヴォーカリゼーション」 発声メカニズムに基づいた劇団四季の姿勢に依存しない発声法の合唱への応用
発表 D 地球市民Ⅱ	講座名「[沖縄]から」 沖縄と本土の意識の差異 ～沖縄と横須賀のメディアの違いを通して考える～

昼休み	
口頭発表／午後の部前半	
発表 A 地球市民Ⅱ	講座名「映像文化と自己表現」 「営」とは
発表 B 地球市民Ⅱ	講座名「日本近代文学研究」 太宰治「葉桜と魔笛」論ー老婦人はなぜ語る
発表 C 地球市民Ⅱ	講座名「服飾造形」 オーガニックコットンを用いた「可愛い」「魅力的」かつ「エシカル」な洋服 ーこれからのファストファッションに関する提案ー
発表 D 地球市民Ⅱ	講座名「物理分野で卒業論文を執筆する」 アルトリコーダー気柱内の共振 ー選指による影響を可視化するー
発表 A 地球市民Ⅱ	講座名「若者をとりまく音楽文化の変遷」 昨今の若者の音楽文化と傾向 ー「エモい」とリバイバルの相関性、シティポップの研究から得られる考察ー
発表 B PBL	PBL「グローバルアントレプレナーシップ」 ベトナム企業へのマーケティング提案で学んだこと
発表 C PBL	PBL「地球と私」 パリの衛生環境問題に踏み込んでみた
発表 D DP2	DP EE：History 文化大革命の発端
ポスター発表／午後の部	
DP1 (TOK) 4 組の発表 2年 PASS：法で裁けない罪～ミルグラムから考える罪の重さ～ 地球市民Ⅰ「エシカルを考える」： フランスのファストファッション罰則法はどのようなファストファッションの定義を定めることで効果的に発揮するか 地球市民Ⅰ「人」たる「ヒト」を探る：Paranthropus 属と Homo 属を区分する形態的特徴 1年 CommunityProject：盲学校から学んだ現状と私達に出来ること	
口頭発表／午後の部後半	
発表 A DP2	DP EE：History オスロ・プロセスの問題点
発表 B DP2	DP EE：Chemistry 両親媒性構造を持つ卵白タンパク質の洗浄機能としての可能性
閉会式	

05

世界の課題に触れる

国際交流・海外研修

本校では異なる考えを持つ人々と協同しグローバルな問題を解決する力を育むために、海外研修や年間交換留学、ターム留学(3ヶ月程度の留学)の機会を設けています。

2025 年度 海外研修・留学

スウェーデン研修	3 月	約 2 週間
台湾語学文化研修	3 月	7 日間
スウェーデン長期交換留学	7 月～翌年 6 月	1 年

※2026 年度以降は変更する場合があります。

あっせん団体などを通しての留学先の例

年間留学	イタリア、フランス、アイルランド、ニュージーランド、カナダ、南アフリカ、アメリカ合衆国、スペイン、ドイツ、オーストリア、フィンランド、チェコ、ラトビア、韓国 ほか
ターム留学	カナダ、オーストラリア、イギリス、ニュージーランド



台湾語学文化研修



スウェーデン研修



カナダ・ターム留学

06

世界の課題を解決する

PBL (プロジェクト・ベースド・ラーニング)

PBL(プロジェクト・ベースド・ラーニング)は日本国内にとどまらず世界で起こっている問題や事象、異なる文化や生活体験について、実際に現地に赴いて調査研究を行い、問題解決の糸口を見いだすプログラムです。教科の枠にとらわれず、教員個々の関心に即して生徒とチームを作り、実施されます。期末試験後の特別学習期間等を利用して短期集中で講義・ワークショップを行い、夏期休暇中に調査研修旅行を行います。

※2026 年度以降は変更する場合があります。

2025年度実施内容

世界の環境問題に取り組む 「地球と私」
インドネシア
8日間



途上国の開発課題に取り組む 「グローバルアントレプレナーシップ」
ベトナム
8日間



日本と韓国の「今」を探る 「日韓文化交流の現在」
韓国
6日間



07

大学の知にふれる

法政大学との高大連携

15 学部を擁する法政大学の付属校の特質をいかして、大学教員による毎週のリレー講義 (P18)、キャンパス見学会・参加型体験授業、3 付属校合同イングリッシュ・キャンプ、英語プレゼンテーション大会、進学内定学部ごとの事前指導など、様々な高大連携プログラムが用意され、大学について詳しく知る機会があります。「特別聴講制度」を利用して、半年間大学キャンパスに通い、大学生とともに講義を受講することもできます。



小金井ワンデー・サイエンス・カレッジ

法政大学との
高大連携の例

- 大学教員によるリレー講義
- 大学キャンパスでの「特別聴講制度」
- 小金井ワンデー・サイエンス・カレッジ
- 総長杯英語プレゼンテーション大会
- 法政大学内定学部の事前指導(3 年次)
- 法政大学高度会計人材育成センター「簿記講座」
- 法政大学図書館の利用
- イングリッシュ・キャンプ(夏期休暇中)
- 多摩キャンパス体験学習プログラム
- ウェルカムフェスタ
- 法政大学学部ガイダンス

08

デジタルコミュニケーションの活用

ICT の活用

本校では全館に Wi-Fi 環境が整っています。一人一台タブレットを持ち、授業だけでなく生徒会活動や部活動においても活用されています。様々な情報が瞬時に共有され、意見交換などにおいても積極的に活用されています。その他に校内各所には大型電子掲示板(サイネージ)が設置され、情報を確認することができます。

タブレットの利用

履修した授業ごとにオンライン上のクラスルームが設置され、授業で使用するプリントやスライドの配信や、課題やレポートの提出もタブレットで行います。また各教室にはプロジェクターとスクリーンが常設され、教員のタブレットから教材を映写する、生徒がプレゼンテーションを行う、生徒会が各種行事の説明を行うなど、幅広い用途に活用されています。



09

学びのベース基地

図書室の活用

図書室には全国公立高校の平均蔵書の2倍以上の、約6万冊の蔵書があります。和書・洋書・図鑑・絵本・新聞・雑誌・DVD・オーディオブックなど幅広い資料があり、「探究的な学び」をサポートしています。昼休みや空き時間、放課後には「自習スペース」で学習したり、ソファでくつろぐ生徒の姿が見られます。

- 自宅からでも蔵書検索や本の予約ができる「図書検索システム」
- アプリを利用し、1200 誌以上の雑誌バックナンバーが購読可能
- 辞書・辞典・統計資料・新聞記事などの各種データベース
- いつでもどこでも本を借り読むことができる「電子図書館」
- 法政大学図書館の蔵書約 172 万冊が利用可能



進路支援

Career Guidance

本校では、目指す進路に合わせて学習プログラムを組み立てることができる制度が IB コース・グローバル探究コースともに整っています。法政大学への推薦入学だけでなく、他大学進学を希望する生徒も支援します。



3年間のキャリア教育プログラム ～ 自分を知り、自分の力で進む道を選ぶ。～

1 年次

自分を知る

- キャリアフォーラム
卒業生を招いて、高校時代の過ごし方やその後の生き方を聞き、自分のこれからをイメージします。
- 法政大学ウェルカムフェスタ
- 1年次進路ガイダンス
- 他大学合格者座談会

2 年次

進路を考える

- 2年次進路ガイダンス
- 法政大学学部ガイダンス
法政大学教員による学部紹介を通して大学で学ぶことの意義について考えます。
- 法政大学ウェルカムフェスタ
- 他大学合格者座談会

3 年次

進路を実現する

- 進路希望調査
- 3年次進路ガイダンス
- 他大学志望者向けガイダンス



「世界のどこでも生き抜く力」を育てる法政大学

法政大学は 1880 年「東京法学社」として誕生して以来、「自由と進歩」の学風のもと、あまたの人材を輩出してきました。時代のフロントランナーとして「進取の気象」をもって、新たな改革に取り組み続けています。法政大学には 3 キャンパスがあり、15 学部 38 学科を擁する、日本有数の総合大学です。



市ヶ谷キャンパス

- 法学部
- 文学部
- 経営学部
- 国際文化学部
- 人間環境学部
- キャリアデザイン学部
- デザイン工学部
- GIS(グローバル教養学部)



多摩キャンパス

- 経済学部
- 社会学部
- 現代福祉学部
- スポーツ健康学部



小金井キャンパス

- 情報科学部
- 理工学部
- 生命科学部

POINT
01

多様な大学入試制度に対応する力、
そして自らの道を切り拓く力を育む

IB コース・グローバル探究コースともに 1 年次に必修の「Critical thinking」によって批判的思考力を身につけます。その後、多くの探究的な学びを通して、「思考スキル」「リサーチスキル」「コミュニケーションスキル」「ソーシャル(社会性)スキル」「自己管理スキル」を獲得していきます。本校の探究型の学びは、自ら問題を発見し、新しい価値を生み出す力を育み、多様な大学入試制度に対応する力を養います。

POINT
02

自分に合った進路を実現する 2 つのコース

IB コース

海外大学へも進学が可能

国際バカロレア (IB) のディプロマ (国際バカロレア資格) は、世界中の大学において入学資格として幅広く受け入れられ、IB のスコアを活用した進路を選択できます。

グローバル探究コース

志望進路に合わせた自由な授業設計

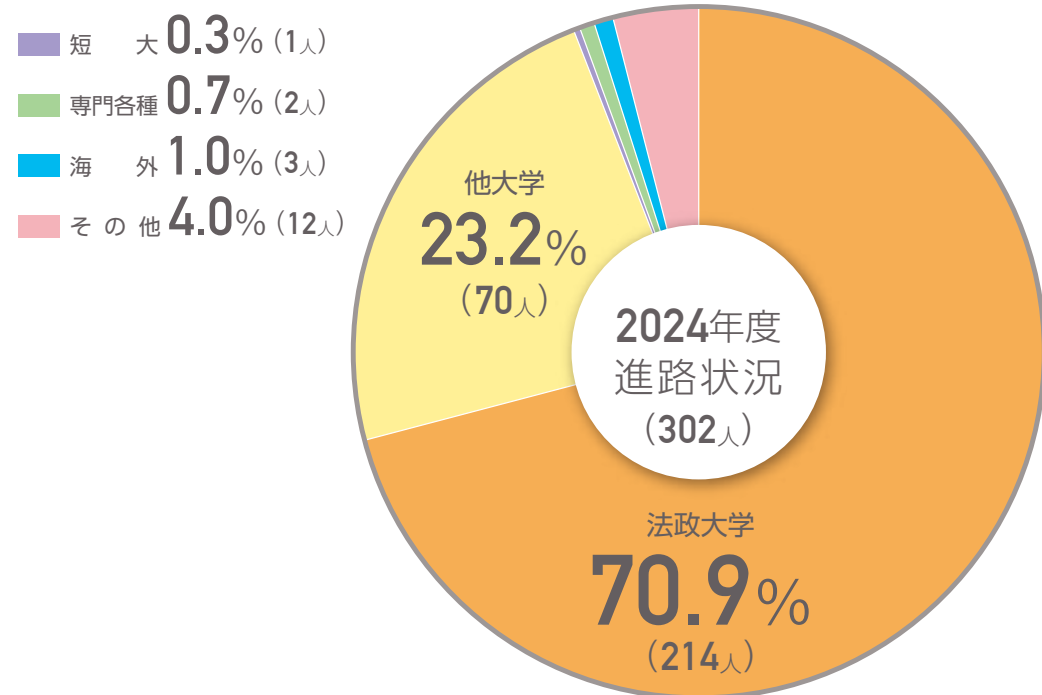
興味関心に合わせて受講する科目を選択できる、単位制のカリキュラムのもと、自身の進路選択に合った学びを自分で設計し学習を進めることができます。

POINT
03

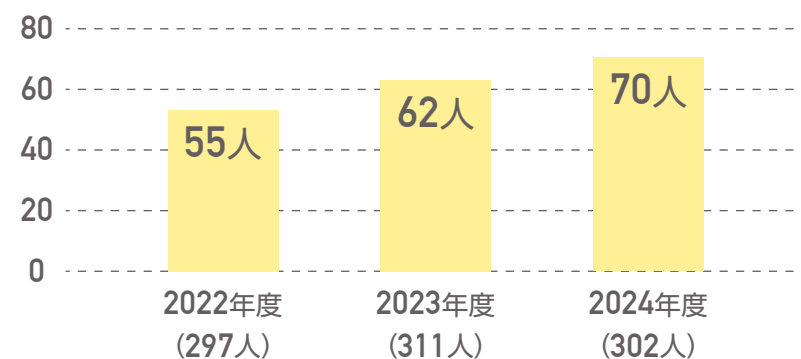
法政大学への推薦資格を保持したまま
他大学の併願受験が可能

本校には、学力が一定の基準に達していれば原則として全員が法政大学へ推薦される、付属校推薦制度があります。また、法政大学に推薦される資格を保持したまま、他大学を「併願受験」することができます。

進路 DATA



卒業生の他大学進学者数 ※ ()内は卒業生数



主な合格大学 (現役のみ)

	(人)					(人)			
	大学名	22卒	23卒	24卒		大学名	22卒	23卒	24卒
国公立大学	大阪大学			1	私立大学	青山学院大学		1	5
	筑波大学	1		1		慶應義塾大学	7	10	16
	東京工業大学	1				国際基督教大学	5	4	2
	東京農工大学	1				上智大学	20	24	28
	電気通信大学	1				東京理科大学	3	1	8
	北海道大学		1			明治大学	3	2	8
	横浜国立大学	2	2	5		立教大学	5	4	8
	横浜国立大学	2	4	2		早稲田大学	8	2	3

海外大学合格校 (2022～2024 年度)

北京外国語大／韓国外国語大／台湾師範大／延世大学校／成均館大学校／高麗大学校／建国大学校／Lund University／University of Sussex／University of Kent／University of Plymouth／Maastricht University／Vrije University Amsterdam／Twente University of Technology／Johannes Kepler University Linz／Montan University Leoben／University of Toronto／University of British Columbia／RMIT University／University of Western Australia／Monash University／University of New South Wales Sydney／University of Sydney／Angeles University Foundation／Ateneo De Manila University／University of Glasgow／University of Nottingham

OB/OG MESSAGE

充実した高校生活が今の学生生活を豊かに

現在私は理学科で生物を専攻しており、大学のプログラムを利用して一年生ながら研究室に配属されています。まだ本格的な研究活動はスタートしていませんが、今後は人工臓器の研究を行う予定です。私がこの研究にたどり着けたきっかけは、法政国際の三年間にあります。私は中学生のころから漠然と人間の体の仕組みについて興味があり、法政国際にはそれを実践的に探究できる環境がありました。三年次では卒業論文を履修し、人体の研究に似ている培養肉の研究を始めました。最初は研究について右も左もわからない状態でしたが、担当教員が親身に寄り添ってくださったので、次第に研究への熱量が大きくなっていき、放課後や学校がない日も研究に励むようになりました。法政国際には、自分がやりたいと思ったことを思う存分挑戦し熱中できる環境があると思います。研究経験のある先生と一対一で、圧倒的な熱量と共に行った研究活動は、大学の研究室でも生きる非常に有意義な経験になりました。法政国際は、あなたの探求心や熱量を受け止めてくれます。自分の率直な興味に従えば、きっと自分の将来につながる充実した高校生活になるはずです。



加藤 柊弥さん
グローバル探究コース
2023年度卒業
横浜市立大学 理学部

関心のあった分野をより深められた高校時代

私は現在、法学部国際政治学科で学んでいます。この学科での学びは、講義を受け、議論を重ねることで、日々急速に変動する政治・経済の状況を分析し、自分の考えをまとめ、レポートやプレゼンテーションを行うことが一つの到達点です。膨大な資料を理解し、論理的に考察し、自分の考えをまとめる力が必要な学問であり、高校での学びが生かされていると感じています。私は高校時代、IB コースで学んでいました。毎週のようにディスカッションを繰り返して、考えを深めたり、プレゼンテーションしたりしていました。ディスカッションでは、コミュニケーション力やリーダーシップ力だけでなく、批判的な思考や論理的な思考力も養うことができました。プレゼンテーションでは、資料の作り方を工夫し、人前に立つ恐怖心をなくすことで、他者に自身の考えが届くことを学びました。法政国際高校での学びは、答えの出ない問いに向かい合うものでした。最終試験に向けて、クラスメイトと協力して学び合ったことも、よい思い出です。このように、法政国際高校は、私の学びの原点であり、かけがえのない仲間と出会った大切な場所です。



中西 大悟さん
IBコース
2022年度卒業
法政大学 法学部

自分が学びたいことを相談し実践できる環境

幼い頃から漠然と海外に憧れを持っていましたが、それを探究させてくれたのが法政国際高校での3年間でした。K-POP に熱中し放課後教室に残って友人と韓国語を勉強したり、中国文化に興味を持ったときには他校の学生と合同で行う中国語講座を先生に紹介していただき、交換留学を目標に中国史を学んだりしました。法政国際には自分が学びたいと思ったことを友達や先生方に相談し、実践できる環境がありました。卒業後は法政大学に進学し、東洋考古学を専攻。大学院ではカンボジアに留学し、神獣ナーガについて研究しました。大学院修了後はカンボジアの日系小売企業でアパレルの買付けと輸入を担当し、現在は日本の別企業でマーチャンダイザーのサポートを行っています。私の背中を押し一歩踏み出させてくださった先生方、また別の夢を持った個性的な友人たちとの3年間があったことで、好奇心を追求し、行動に移すことの楽しさを知りました。それは社会人となった今でも大切にしている姿勢です。



高田 風花さん
2010年度卒業
株式会社ローソン



学校生活

自由を支える「自主規律」の精神

高校生活の主人公は生徒一人ひとりです。
生徒自身が自ら考え、責任を持って行動する、
教員はそれを「支援」するのが、本校の基本的な考え方です。

本校は前身の法政大学女子高等学校以来「真の自由と自主性」を追求してきました。細かな規則がなくても、教員からの指導がなくても、生徒自身で「何がして良いことか」「何がしてはいけないことか」を判断し、行動を律していける「自主規律の精神」を大切にしてきました。30年以上にわたる長い生徒会の取り組みによって、いわゆる「校則」にあたる「服装規定」「日常生活の諸注意」は最低限のものになっています。普段の学校生活では、自由に「学校生活に適した服装」（私服）を着用しています。授業開始・終了を告げるチャイムもありません。教室移動時間や準備時間も含めて、自分自身でタイムマネジメントする習慣を身につけます。生徒が「自由」を支える責任を自覚して行動していること、そして生徒同士、また、生徒と教員とが真剣に話し合う伝統を維持していることによって明るく自由な校風を作り出しています。

個々の選択に合わせた授業スタイル

クラスター制

本校では1年次は中学校と同じように学級単位で授業が行われますが、自分で履修する授業を選択する2・3年次は生徒一人ひとりが異なる時間割で生活し、毎時間科目ごとに異なるメンバーで授業に参加します。2・3年次は30名程度の学年混合の「異学年クラスター」をベースに、週1回LHR（ロングホームルーム）が行われます。生徒会に関する取り組みはLHRの時間に、各クラスターの委員と議長団が中心となって話し合われます。



アドバイザー制

各クラスターには教員がアドバイザーとして配置されています。アドバイザーは、いわゆる「担任」のように生活全般を「指導」するのではなく、生徒一人ひとりが個の自立をはかり、自主的に協同関係やネットワークを形成できるように、その活動を「支援」しています。教員組織には専門部署が設置され、各クラスターのアドバイザーと連携しながら、進路に関わることは進路支援部教員が、生徒会活動に関わることは生徒支援部教員が、留学等に関わることは国際部教員が支援します。また、スクールカウンセラーが配置されています。個々の生徒に応じたより専門的な援助を行っています。



クラブ活動

体育部

- 応援
- 合気道
- ソフトボール
- バレーボール
- バスケットボール
- ソフトテニス
- 硬式テニス
- サッカー
- バドミントン
- ダンス
- 陸上競技

文化部

- 吹奏楽
- 弦楽
- 美術
- ゴスペル
- 華道
- 茶道
- 放送
- 英語
- 家庭
- 漫画広報
- 軽音楽



サッカー部



吹奏楽部



ダンス部

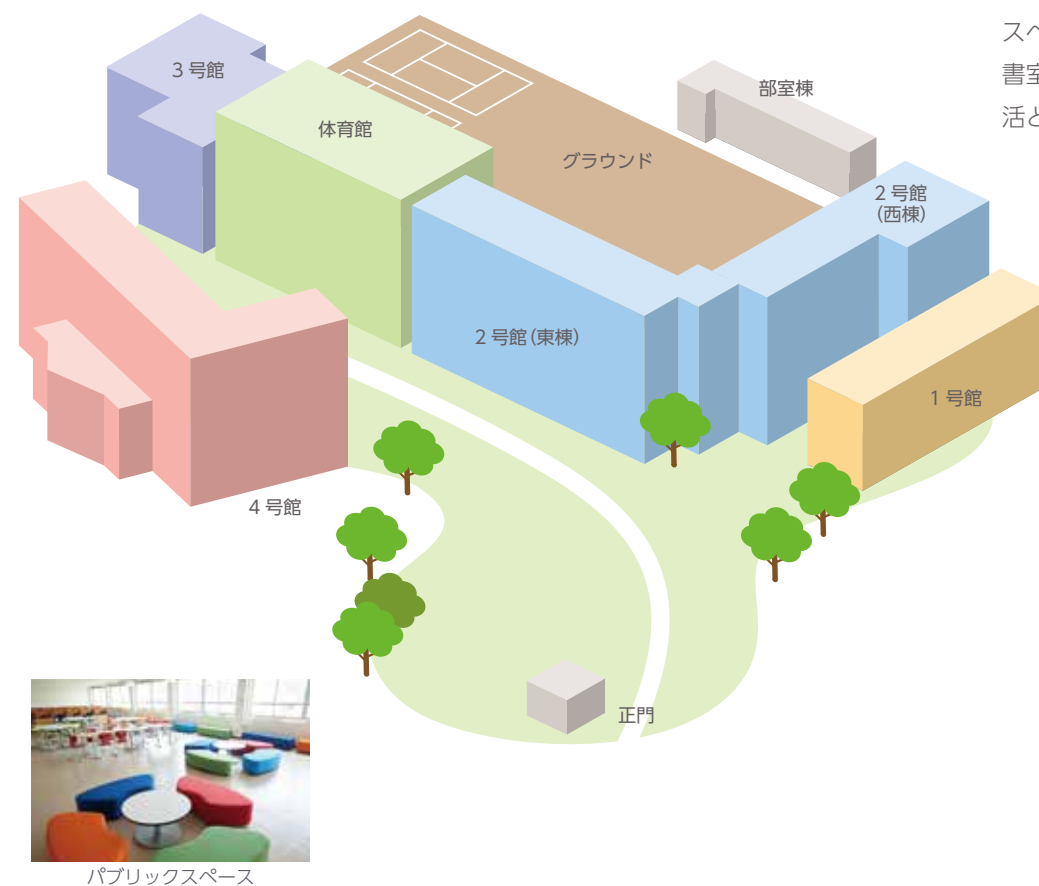


茶道部

※2026年度以降は変更となる場合があります。

施設紹介

校内には、充実した施設が揃っています。活発な議論を生むパブリックスペースや、約6万冊を所蔵する図書室などの様々な施設が、生徒の生活と学習を支えています。



化学実験室



体育館



図書室

年間行事

04 2025 April 入学式 新入生オリエンテーション 健康診断 PTA総会 DP集会	05 May 生徒総会 1学期期末試験	06 June 体育祭	07 July 2学期期末試験 法政大学学部ガイダンス 履修登録ガイダンス 法政大学ウェルカムフェスタ
08 August イングリッシュ・キャンプ 小金井ワンダー・サイエンス・カレッジ 多摩キャンパス体験学習プログラム	09 September IB生徒報告会 オレンジ祭（文化祭）	10 October 生徒会総務選挙 IB最終試験	11 November 3学期期末試験 地球市民成果発表会
12 December キャリア教育プログラム 履修本登録説明会 文楽鑑賞教室 総長杯英語プレゼンテーション大会	01 2026 January 3年次4学期特別授業	02 February 生徒会行事 法政大学進学者事前指導 4学期期末試験	03 March 卒業式・DP授与式 新入生登校日 国際教育プログラム成果発表会 スウェーデン研修 台湾語学文化研修

※2026年度以降は変更する場合があります。

2025年度 旅行行事一覧

※参加は希望者のみです。
 ※2026年度以降は変更する場合があります。

地球市民「旅する人の観光学」	関西地方	4日間	8月
地球市民「純喫茶のエチカ」	関西地方	4日間	8月
地球市民「ミライのための平和プロジェクト」	中国地方	5日間	8月
イングリッシュ・キャンプ	関東地方	3日間	8月
PBL「日韓文化交流の現在」	韓国	6日間	8月
PBL「地球と私」	インドネシア	8日間	8月
PBL「グローバル・アントレプレナーシップ」	ベトナム	8日間	9月
台湾語学文化研修	台湾	7日間	3月
スウェーデン研修	スウェーデン	約2週間	3月



法政国際での一日

1日のタイムスケジュール

08:00	開門
08:55~10:35	1限
10:45~12:25	2限
12:25~13:10	昼休み
13:10~14:50	3限
15:00~16:40	4限
16:40	放課後
18:10 ※11月~3月は17:40	下校

● 始業時刻は8:55と遅めなので、神奈川県・東京都はもちろん、千葉県・埼玉県から通学する生徒もいます。

● 授業はグループワークやプレゼンテーション、実験・実習が多いことから1コマ100分を基本としています。

● 1年次生は全員が必修科目を受講しますが、2・3年次生は「単位制」で自由に科目を履修選択するため、一人ひとり時間割が異なります。授業の選択の仕方によって、授業開始(登校)時刻・授業終了(下校)時刻が異なります。

● 1日の間に授業のない「空きコマ」が生じることもあります。「空きコマ」には授業の予復習や、友人との歓談に興じるなど、思い思いに過ごす生徒の姿が見られます。

● 週5日制です。土曜日は授業がありません。

文系理系の二者択一ではなく得意な科目を選択して伸ばす

グローバル探究コース 3年 S.S.

1年次は必修科目を履修しますが、2年次からは自分たちで履修科目を選択できるので、私は得意な英語を中心に受講しています。法政国際は文系か理系かの二者択一という縛りではなく、自分が伸ばしたい科目や興味を持った科目を自由に選択できるところが魅力です。「地球市民」や「PBL(プロジェクト・ベースド・ラーニング)」といったユニークな科目もあって、幅広い分野を学ぶことができます。法政国際は帰国子女の生徒がたくさんいるので、先生だけでなく友達との会話からも英語と触れ合う機会が多いのが特長です。その交流を通して、バックグラウンドや価値観の違いに気づいたり英語力に圧倒されたりすることもあります。それがもっと話せるようになりたい、対話の質を深めたいというモチベーションになっています。まだ漠然としています。海外で働いてみたいという夢があるので、例えば公認会計士などの資格を取得し、英語力をいかにしながらグローバルに活躍できたらと思っています。そのために、経済・経営系大学への進学に向けて受験勉強に励んでいます。

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
1限	古典総合		ライティングⅡ	英語コミュニケーションⅢ Advanced	いろいろな英文を読む
2限	体育	倫理			日本史総合
昼休み					
3限		倫理表現Ⅱ	情報Ⅱ	ホームルーム／総合的な探究の時間	子どものしあわせを考える
4限	英語コミュニケーションⅢ Advanced				



case 1

IBコースで実践的な学習法を身につける

IBコース 3年 Y.T.

入学時はグローバル探究コースに在籍していましたが、7月の編入試験を受けて、1年の後期からIBコースに編入しました。私の場合、IBコースのことを知ったのは入学してからで、その実践的な学習にとっても興味を持ちました。編入制度が導入されたのは私たちの代が初めてで、これは巡り合わせなのかなとも思いました。IBコースでは実験をしてレポートにまとめたり、プレゼンをし、みんなでディスカッションをしたりなど自分で考えて表現していくことが多く、知識を詰め込むだけではありません。また、数学の授業を英語で行うのもIBコースの特徴です。最初は理解するのが大変で成績が落ちてしまいましたが、わからないままにするのではなくクラスみんなで改善策を練ることで、成績が向上していきました。クラスメイトはみんな個性的で、考え方がそれぞれ違うので討論も活発で、学校生活は楽しいです。IBコースは2・3年次同じ科目を学んで行くので3年次もしっかり勉強に取り組みながら、将来に役立つさまざまなスキルを法政国際で身につけたいです。

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
1限	Chemistry SL	Biology HL	TOK	Biology HL	Mathematics-Analysis and Approaches HL
2限	History SL	Mathematics-Analysis and Approaches HL	Mathematics-Analysis and Approaches HL	Chemistry SL	English B SL
昼休み					
3限	体育(発展)		Biology HL	ホームルーム	JapaneseA Literature HL
4限	JapaneseA Literature HL	English B SL	JapaneseA Literature HL		History SL



興味のある環境への探究心が、大学進学に向けての意欲に

グローバル探究コース 3年 A.R.

小さい頃から環境についてとても興味があり、まだ職種は明確に決めていませんが、その分野の仕事に就きたいと思っています。2年次に「地球市民」で「環境化学入門」を受講したのも、環境という広い分野のなかで何に興味があるのか、どういったことをやってみたいのかを考えるためでした。自分が興味のあるテーマを決めて実験を計画・設計するという内容で、課題を探究することができましたし、他の生徒たちの発表から新たな発見や興味も生まれて、とても面白かったです。3年次に受講する「環境化学」の授業が楽しみです。また、2年次の夏休みに法政大学小金井キャンパスのワンデーサイエンスカレッジに参加し、研究室を訪問して大学生の方達に話を聞き、研究内容の一部を体験してきました。大学の研究室がどんな場所なのかイメージを持つことができたので、進学を見据えた貴重な経験になりました。3年次は理系科目を多く選択しているので学びをさらに深め、地球市民などの探究科目を通して幅広い視野で物事を考えていく1年にしていきたいです。

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
1限		化学	生物		
2限	数学Ⅲ	体育	数学Ⅲ	英語コミュニケーションⅢ	化学
昼休み					
3限	生物			ホームルーム／総合的な探究の時間	環境化学
4限		英語コミュニケーションⅢ	数学C		

